

わなければならない。

#### 4. ユニット対策

- 4-1. 各ユニットには逆流防止装置の設置が望ましい。
- 4-2. 朝の始業前には全ての水系から5分間程度の放水を行う。

#### 5. 環境対策

- 5-1. エアロゾル対策として口腔内パキュームに加え口腔外パキュームの使用が望ましい。
- 5-2. 室内装置としてオゾン発生装置付き空気清浄機（天井埋め込み式）が推奨される。

#### 6. 廃棄物処理

歯科医院から出る全ての廃棄物は医療廃棄物であり、一般家庭から出される廃棄物とは区別され、適正に処理されなければならない。医療廃棄物は薬品の空き瓶や缶、レントゲン現像液や定着液などの非感染性廃棄物と感染性廃棄物に分別される。特に感染性廃棄物はその取り扱いに注意を払わなければならない。

#### 7. 針刺し事故等の発生時の対処

- 7-1. 事故が起きた場合は速やかに報告する。歯科医院の場合は責任者である院長に報告することになる。
- 7-2. 事故者の採血及び検査はその事故以前にその感染症に罹患していないという証明のため必要である。さらに血液も保存しておくべきである。
- 7-3. 事故原因についてはその場で精査し、即時事故回避のための対策をたてる。事故報告、事故原因、事故対策はカンファレンスで話し合い、記録を残す。事故の報告書を作成しながら事故防止対策に関し話し合い、防止策、事故後の処置などの説明が出来るようにしておく。
- 7-4. 損傷部の処置法  
粘膜暴露ではよく洗浄し、また経皮事故では流水下で血液を搾り出し、消毒する。
- 7-5. 病院との連携  
事故の際相談できる専門医のいる病院と連携しておく。また事故の際あわてないようにあらかじめ連携病院の電話番号、内線、医師名などを貼りだしておく。

#### 8. その他の注意

- 8-1. 患者ごとに滅菌タービンを交換する。
- 8-2. 麻酔カートリッジは患者毎完全廃棄する。
- 8-3. ディスポ可能なものはできるだけディスポ製品を使用する。
- 8-4. 必要に応じてB型肝炎ワクチンの接種を行う。

注釈：これらのマニュアル作成は、必ずスタッフも参加して行う。感染対策の実行にはスタッフが主力であり、その協力が不可欠であることから、スタッフも参加しての独自のマニュアルを作成する。

## II. 院内感染対策の体制

本院における院内感染防止を推進するために、本指針に基づき本院は以下の体制づくりに取り組む。

- (1)院内感染防止対策に関すること
- (2)院内感染予防の研究、啓発に関すること
- (3)医療廃棄物の処理及び清掃に関すること
- (4)感染症の発生状況や環境汚染状況等の把握（サーベイランス）
- (5)院内感染状況レポートの作成と報告
- (6)感染防止対策の実施と指導
- (7)感染対策マニュアルの作成・修正・配布
- (8)職員の安全教育と啓蒙を推進
- (9)その他、感染防止に関すること

## III. 院内感染対策のために従業者に対して行われる研修に関する基本方針

院内での研修以外に、日本歯科医師会が主催する歯科医療従事者向けの感染対策講習会や各都道府県、地域歯科医師会、同窓会等が企画するもの、また商業的な感染対策講習会など年に2回程度の講習受講、または必要に応じて開催もしくは受講する。なお自院での講習会ではその場所、日時、参加人数、参加者名、その内容について記録しておく。また他所での受講の場合は場所・日時・講演タイトル・講師名等の明記された配布資料を保管しておく。さらに講演内容に関するメモ、感想なども配布資料に記載する。

## IV. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針

感染症が発生した場合は、所轄の保健福祉事務所および所属地域歯科医師会に速やかに報告する。

## V. 院内感染発生時の対応に関する基本方針

院内感染発生時は、感染の種類、症状、病態などに応じて地域の診療所、病院などと連携のもと速やかに対処する。また医療従事者側の針刺し等の血液・体液の暴露では、針刺し事故等の際のマニュアルに沿って対応する。

## VI. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針

患者等が閲覧を求めた場合は、必要に応じ自診療所の感染対策の体制に関する資料を閲覧可能とする。

## VII. その他 医療機関における院内感染対策の推進のために必要な基本方針

各診療所は研修会や歯科医師会、更に他の診療所などを通じ常に感染症に対する新たな情報を入手し、適宜感染対策マニュアルの見直しを行っていく。また職員の安全にも細心の注意を払う。

委員長	副委員長		
印	印	印	印

## 医療安全管理研修会報告書

平成 年 月 日

所 属  
氏 名

記

名称			
日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分～ 時 分		
場所		参加数	
講師			
研修内容			
摘要			

委員長	副委員長		
印	印	印	印

## 医療安全管理委員会（医療安全ミーティング）議事録

平成 年 月 日 記録者：

開催日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分～ 時 分
開催場所	
出席者	
欠席者	
討議事項	
討議内容及び決定事項	
継続課題	
次回日程	平成 年 月 日 午前・午後 時 分～ 時 分

## 医療機器の保守点検計画・記録表

### 1 基本的事項

医療機器名
設置・保管場所
製造販売業者名 (連絡先)
形式、型番、購入年

### 2 保守点検計画

保守点検の予定	時期、間隔
	条件

### 3 保守点検の記録

① 実施年月日
② 保守点検の概要
③ 保守点検者名

### 4 修理の記録

① 修理年月日
② 修理の概要
③ 修理担当者名

# 医療機器 始業点検シート

病院名

院長確認印

注:

- ① 担当者の欄に点検者名を記入し、異常のない場合は「J」点記入する。異常のある場合は「異常」と記入し、点検項目に○印を記入し、異常のある機器の名称と番号を備考欄に記入し、医療機器安全管理責任者に報告する。
- ② 医療機器安全管理責任者は毎日点検者による点検シートが行われたことを確認し、サインをする。

医療機器安全管理責任者名

実施月

年月

点検項目	日付	日																																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
それ以外の機器の電源状態確認	担当者																																		
ユニットなどの診察機器																																			
エアコンプレッサー	始業時																																		
セントラルバキューム																																			
ユニットの各システム動作確認																																			
各元コックを開く	始業時																																		
スリーウェイバルブの動作確認	始業時																																		
タービンエアー圧の適正圧力状況	始業時																																		
バキュームのスイツチと吸引状態	始業時																																		
ユニットを操作し、異常音・ガタ・振動確認	始業時																																		
患者用いすの動き・緊急停止装置	始業時																																		
ターニクルの上下・左右の動き	始業時																																		
フットコントロールの動作	始業時																																		
無影灯の上下・左右の動き	始業時																																		
各部の異常音・ガタ・緩み・さび等	始業時																																		
エアタービン・ハンドピースの確認																																			
パーの引抜きテスト	午前																																		
パーの回転力	午後																																		
パーの奥までの完全挿入	午前																																		
ヘッドキヤッチのゆるみ	午後																																		
スラシーのパーへの当り具合	午前																																		
異常音・振動など	午後																																		
マイクローター・エアモーターの確認																																			
ハンドピースの接続	午前																																		
異常音・振動など	午後																																		
スリーウェイバルブの確認																																			
エア・水・スラシーの切替	始業時																																		
適量・適圧と温水・温風	始業時																																		
エックス線撮影装置の確認																																			
各作動による異常音・ガタ・緩み	始業時																																		
曝射状態(有資格者による)	始業時																																		
備考:																																			
医療機器安全管理責任者確認	毎日																																		

※詳細については、各器械の添付文書及び取扱説明書などを参照する。